

# 科学技術概論 ( 第 5 回 )

## 科学技術政策概論 I

国立大学法人福島大学  
理工学群共生システム理工学類  
助教授 樋口 良之  
<http://www.hi-higuchi.com/>

# 1. 科学技術政策の定義

人的・物的資源を駆使して、政府、民間の諸機関における科学技術の諸活動を推進するもの。

科学技術の基盤整備を図るために、環境との調和に留意しなければならない。

国家が計画的、組織的に行う科学技術に関する行動方針およびそれを実現するための行動体系である。

ビジョン

- ・目標
- ・価値観
- ・将来像



目標をいかに実現させるか

ビジョンの共有  
実施方法

フィードバック

状況の把握

- ・科学技術  
指標評価
- ・その他

## 2. 科学技術政策の構成

自然現象

科学研究政策

基礎科学

応用科学

産業技術政策

技術開発

実用化

市場化

産業活動

経済政策、産業政策などとの関係が深く、  
ODA（Official Development Assistance）政策などとも  
関連がある。

## (1) 科学研究政策

主として、文部科学省の学術行政で長期的政策である。大学、国立試験研究機関と連携し、研究内容は自由度が高い。教育政策との関連は大きい。

対象領域：人文・社会科学から自然科学までの全分野  
自然現象の法則、原理を究明する基礎科学、応用科学

参考：文部科学省の競争的研究資金

科学研究費補助金 戦略的創造研究推進事業

科学技術振興調整費 研究拠点形成費等補助金

キーテクノロジー研究開発の推進 地球観測システム構築推進プラン

原子力システム研究開発委託費 独創的シーズ展開事業

先端計測分析技術・機器開発事業

独創的革新技術開発研究提案公募制度／革新技術開発研究事業

重点地域研究開発推進事業 地域結集型共同研究事業

## (2) 産業技術政策

主として、経済産業省の産業技術開発行政で、短期的政策が多い。 > 新ニーズの発掘から製品化までのリードタイムが短い

民間企業、国立試験研究機関に影響を与え、具体的な支援が得られやすいものの研究内容の自由度は比較的低い。

参考：経済産業省の政策分野

経済・事業環境整備政策 地域経済産業政策

対外経済政策 技術革新政策 環境政策

基準認証・知的基盤政策 製造産業政策

情報政策 サービス産業政策 商務・流通政策

消費者政策 資源エネルギー政策 産業財産政策

中小企業政策 原子力安全・保安政策

### 3. 政策展開される科学技術への期待

#### 国家としての責任と推進

- ・ 安全保障

  - 防衛、食料およびエネルギーなどの資源

- ・ 宇宙開発などに見られる国威発揚

- ・ 基礎研究の推進

- ・ 科学技術の基盤整備

- ・ 社会、公共サービスの向上

  - 医療、公衆衛生、都市、社会

  - 福祉、情報通信など住民サービス

- ・ 産業技術と構造の改革、経済成長への期待

#### 国際社会、グローバル社会への対応と貢献

## 4. 科学技術の展開方法

開拓型 新しいパラダイムを創出し、当該分野の主導権を握る。

防御型 パイオニアの存在する分野に対して、独自の科学技術により対応する。

適用型 先端的コンセプトを採用し、改良、工夫を加えて参画する。

項目	政府主導型	民間主導型
開拓型	米国のアポロ計画	
防御型		
適用型		

## 5. 政策化の必要性

科学技術の高度化を効率的に実施する。

- ・ 資金の投下の企画調整、集中化
- ・ 基盤整備と相互利用、分担による低コストの実現
- ・ 個別の研究組織の有機的連携の促進

## 6. 科学技術政策の動向

- ・ 新しいパラダイムの創造
- ・ 国際化とグローバルイゼーション
- ・ 多様なリソースの連携（産学官交流促進）
- ・ 地球をシステムとして考慮した調和と共生